



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 カンダホールディングス株式会社

コード番号 9059 U R L <https://www.kanda-web.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原島 藤壽

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田中 隆雄

T E L 03-6327-1801

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	39,631	0.2	2,999	9.4	3,159	11.7	2,059	10.4
2025年3月期第3四半期	39,541	2.5	2,741	0.9	2,829	1.1	1,865	3.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,386百万円 (28.0%) 2025年3月期第3四半期 1,863百万円 (1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	96.14	-
2025年3月期第3四半期	87.07	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	49,333	27,681	56.1
2025年3月期	47,484	25,766	54.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 27,681百万円 2025年3月期 25,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 10.50	円 銭 -	円 銭 10.50	円 銭 21.00
2026年3月期	円 銭 -	円 銭 11.50	円 銭 -	円 銭 11.50	円 銭 23.00
2026年3月期(予想)				11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	52,300	0.6	3,600	4.8	3,650	4.3	2,373	7.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	23,308,720株	2025年3月期	23,308,720株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,883,098株	2025年3月期	1,883,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	21,425,622株	2025年3月期 3Q	21,425,622株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費は拡大し、インバウンド需要も回復基調が継続したものの、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、円安の進行などによるコスト上昇が企業・家計双方に影響し、景気回復の歩みは引き続き緩やかなものとなりました。また、世界経済においては、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の不安定化に加え、中国経済の減速懸念など、不確実性の高い状況が継続しております。

このような経済環境のもと、物流業界におきましては、国内物流業界全体として、燃料費や倉庫費、人件費等の上昇が続いており、依然として厳しい事業環境が続いております。国際貨物においても、地域によって需給バランスや為替動向の影響を受け、荷動きにばらつきが見られる状況が続いています。

当社グループにおきましては、貨物自動車運送事業において、既存取引先の取扱量減少に加え、燃料価格や人件費をはじめとするコスト上昇が収益を圧迫したものの、効率的な運行管理や運賃改定などの取り組みにより、前年同四半期比で增收増益となりました。一方、国際物流事業においては、一部地域における需要の不透明感が残るもの、取扱量が堅調に推移したことにより、前年同四半期比で減収ながらも増益を確保いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は39,631百万円（前年同四半期比0.2%増）となり、営業利益は2,999百万円（前年同四半期比9.4%増）、経常利益は3,159百万円（前年同四半期比11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,059百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、22,201百万円（前連結会計年度末は20,512百万円）となり、1,689百万円増加しました。現金及び預金の増加743百万円、受託現金の増加394百万円、受取手形、営業未収金及び契約資産の増加785百万円、リース投資資産の減少124百万円が主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、27,131百万円（前連結会計年度末は26,971百万円）となり、159百万円増加しました。投資その他の資産に含めております投資有価証券の増加458百万円、建物及び構築物（純額）の減少406百万円が主な要因です。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、14,864百万円（前連結会計年度末は14,806百万円）となり、58百万円増加しました。支払手形及び営業未払金の増加142百万円、預り金の増加475百万円、未払法人税等の減少330百万円、賞与引当金の減少239百万円が主な要因です。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、6,787百万円（前連結会計年度末は6,911百万円）となり、123百万円減少しました。長期借入金の減少345百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、27,681百万円（前連結会計年度末は25,766百万円）となり、1,914百万円増加しました。利益剰余金の増加1,588百万円、その他有価証券評価差額金の増加317百万円が主な要因です。

この結果、自己資本比率は1.8ポイント上昇し、56.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結会計年度の業績予想につきましては、前回発表（2025年5月15日付）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,170	9,914
受託現金	4,781	5,175
受取手形、営業未収金及び契約資産	5,332	6,117
棚卸資産	169	173
前払費用	441	362
リース投資資産	171	47
その他	455	436
貸倒引当金	△8	△25
流動資産合計	20,512	22,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,990	8,583
土地	12,210	12,210
その他（純額）	2,237	2,456
有形固定資産合計	23,438	23,250
無形固定資産	560	461
投資その他の資産	2,973	3,419
固定資産合計	26,971	27,131
資産合計	47,484	49,333
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,145	3,288
短期借入金	3,059	3,026
未払法人税等	791	460
預り金	4,876	5,352
賞与引当金	380	141
その他	2,552	2,596
流動負債合計	14,806	14,864
固定負債		
長期借入金	3,541	3,196
リース債務	140	156
役員退職慰労引当金	231	209
退職給付に係る負債	1,325	1,372
資産除去債務	73	73
その他	1,599	1,779
固定負債合計	6,911	6,787
負債合計	21,717	21,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772	1,772
資本剰余金	1,633	1,633
利益剰余金	22,218	23,806
自己株式	△401	△401
株主資本合計	25,223	26,811
その他包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	718	1,035
為替換算調整勘定	△122	△117
退職給付に係る調整累計額	△53	△48
その他包括利益累計額合計	543	869
純資産合計	25,766	27,681
負債純資産合計	47,484	49,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	39,541	39,631
営業原価	35,033	34,825
営業総利益	4,508	4,806
販売費及び一般管理費		
役員報酬	309	315
給料及び手当	463	472
賞与引当金繰入額	24	16
退職給付費用	28	29
役員退職慰労引当金繰入額	20	19
その他	919	953
販売費及び一般管理費合計	1,767	1,806
営業利益	2,741	2,999
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	50	62
為替差益	52	64
その他	74	99
営業外収益合計	177	228
営業外費用		
支払利息	44	45
保育園運営費用	26	17
その他	18	5
営業外費用合計	90	68
経常利益	2,829	3,159
特別利益		
固定資産売却益	29	13
リース解約益	4	—
投資有価証券売却益	—	33
特別利益合計	33	46
特別損失		
固定資産除売却損	8	0
リース解約損	—	0
損害賠償費用	—	28
特別損失合計	8	28
税金等調整前四半期純利益	2,854	3,177
法人税等	988	1,117
四半期純利益	1,865	2,059
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,865	2,059

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,865	2,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	317
為替換算調整勘定	△27	4
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	△1	326
四半期包括利益	1,863	2,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,863	2,386

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	国際物流 事業	不動産賃貸 事業	計				
営業収益								
外部顧客への売上高	29,606	8,520	673	38,801	740	39,541	—	39,541
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	14	—	25	—	25	△25	—
計	29,617	8,535	673	38,826	740	39,567	△25	39,541
セグメント利益	2,096	917	439	3,453	76	3,530	△788	2,741

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業、コンピュータソフト開発保守業、保険代理店業、部品販売業、太陽光発電業、清掃業、事務代行業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△788百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	国際物流 事業	不動産賃貸 事業	計				
営業収益 外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高又は振替高	29,668	8,494	670	38,833	798	39,631	—	39,631
28	1	—	29	—	—	29	△29	—
計	29,696	8,496	670	38,862	798	39,661	△29	39,631
セグメント利益	2,299	1,027	430	3,757	84	3,842	△843	2,999

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業、コンピュータソフト開発保守業、保険代理店業、部品販売業、太陽光発電業、清掃業、事務代行業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△843百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,260百万円	1,267百万円
のれんの償却額	62	62